

# JAと探す、わたしたちの明日



こんにちは!  
JAです。

JAのこれからを一緒に考えるこの連載。今回は、「相互扶助(助けあい)」のもと、農とくらしの総合事業を営むわたしたちのJAの、高齢者福祉事業について考えてみましょう。

## 高齢化社会でできること

わが国は今、超高齢化社会を迎えています。また食生活や運動習慣を原因とする生活習慣病や認知症が増え、介護を必要とする人が増えています。しかし少子化が進み支える人々の負担が増え、家庭だけでは対応しきれなくなってい

ます。わたしたちJAは早くから介護問題に取り組み、さまざまな事業で地域福祉を支援してきました。それは地域とJAは切り離せない関係であり、「相互扶助」の精神が、地域福祉でも大きな力を発揮できるからです。

いきがい、  
ゆとりで元気に

「いきがい」と「ゆとり」あるくらしで元気に100歳まで過ごすために、介護を必要としない生活を送れるよう「健康寿命」の取り組みが注目されています。わたしたちJAは「JA健康寿命100歳プロジェクト」で、助けあい組織や女性組織、地域で活動する方々と連携し、「運動」「食事」「健診・介護・医療」などの活動を通して、「健康寿命」を創造する運動をすすめていきます。